

## 第 18 回佐久新校再編実施計画懇話会

日時：令和 6 年 2 月 8 日（木）  
午後 6 時から 7 時 50 分  
会場：長野県佐久合同庁舎講堂

### <次 第>

#### 1 開 会

#### 2 挨拶

#### 3 会議事項

(1) 第 17 回佐久新校再編実施計画懇話会まとめについて

(2) 統合方法について

(3) 佐久新校施設整備について

- ・今後の予定について
- ・定時制に係る諸事項について
- ・報告事項 教員ワークショップについて、学校視察について
- ・前回意見交換に対する県教委の考え方について
- ・グループワーク

#### 4 その他

第 19 回佐久新校再編実施計画懇話会について

【日時】 3 月末までに開催する方向で現在調整中

【会場】 現在調整中

#### 5 閉 会

## 佐久新校再編実施計画懇話会 構成員名簿

	区分	氏名	所属等
1	自治体	畠山 啓二	佐久市 副市長
2		吉岡 道明	佐久市教育委員会 教育長
3		榊 祐史	南佐久郡町村教育委員会連絡協議会 会長
4	産業界	坂川 和志	佐久商工会議所 副会頭
5		渡辺 仁	佐久総合病院 統括院長
6		白鳥 敬日瑚	マイクロストーン株式会社 代表取締役社長
7	学識 経験者	堀内 ふき	佐久大学 学長
8	地域	廣末 恵子	社会医療法人恵仁会 医師
9		原 啓明	佐久地域振興局 局長
10	同窓会	吉岡 徹	野沢北高等学校同窓会 会長
11		長田 芳子	野沢南高等学校同窓会 会長
12	PTA	市川 俊一	野沢北高等学校PTA 会長
13		山越 あゆみ	野沢南高等学校PTA 会長
14		竹内 由貴	全佐久PTA連合会 副会長
15	学校 関係者	小林 新治	佐久中学校長会 会長
16		森泉 雄二	佐久小学校長会 会長
17	再編 対象校	嗟峨 優空	野沢北高等学校 生徒会長
18		林 広陽	野沢北高等学校 生徒会副会長
19		木内 あかり	野沢北高等学校 生徒会副会長
20		佐藤 佳乃	野沢南高等学校 生徒会長
21		河本 舞	野沢南高等学校 生徒会副会長
22		西澤 克弥	野沢南高等学校 生徒会副会長
23		柳沢 敬	野沢北高等学校 校長
24		山下 純一	野沢北高等学校 教諭
25		中村 信秋	野沢南高等学校 校長
26		臼田 賢治	野沢南高等学校 教諭

### 事務局

野沢北高等学校		野沢南高等学校		高校再編推進室	
野村 雅幸	(教頭)・事務局長	橋爪 俊彦	(教頭)・副事務局長	柳澤 弘蔵	主幹指導主事
山下 純一		臼田 賢治		有坂 清明	主任指導主事 (佐久新校担当)
阿藤 正彦		市川 尚智		井出 敦	主任指導主事 (佐久新校副担当)
神岡寿賀子		渡邊 武志			
清水 貴弘		山口 達之			

# 第17回 佐久新校再編実施計画懇話会まとめ(案)

日時	令和5年(2023年)12月18日(月) 18時00分~19時45分
場所	長野県佐久合同庁舎 講堂
出席(敬称略)	吉岡道明, 畠山啓二, 坂川和志, 渡辺仁, 白鳥敬日瑚, 廣末恵子, 原啓明, 吉岡徹, 長田芳子, 市川俊一, 山越あゆみ, 竹内由貴, 小林新治, 森泉雄二, 嗟峨優空, 林広陽, 木内あかり, 佐藤佳乃, 河本舞, 西澤克弥, 柳沢敬, 山下純一, 中村信秋, 臼田賢治 以上24名
傍聴者	12名
事務局	野沢北高校:野村 教頭(事務局長),阿藤教諭,神岡 教諭,清水教諭 野沢南高校:橋爪 教頭(副事務局長),市川教諭,渡邊教諭,山口教諭 県教育委員会:柳澤主幹指導主事,有坂主任指導主事,井出主任指導主事
当日資料	次第,第16回懇話会まとめ,佐久新校施設整備事業基本計画策定支援業務委託プロポーザル二次審査提案書

## 会議事項

- (1) 第16回佐久新校再編実施計画懇話会まとめ
- (2) 佐久新校施設整備事業基本計画策定支援業務委託プロポーザル二次審査提案書の説明、意見交換
- (3) NSD部会について

## 主な内容(要旨) ⇒業務委託業者 →事務局

### <佐久新校施設整備事業提案書の説明>

⇒スライドと二次審査提案書を基に説明

### <佐久新校施設整備に係る意見交換>

- 部室(班室)が足りないのではないか。広さはどれくらいか。  
⇒数は確実に用意する。広さは今のものを参考にして最終的に決めていく。
- 学校規模が大きくなる。学びの場としては良いと思うが、校舎周りが狭い。防災の拠点になるのであれば広い場所や広い校地が必要ではないか。  
⇒この案は「たたき台」であり、学びのために必要な施設は何かということはこれから検討していく。
- 新校は学校規模が大きくなるが駐車場、校庭は今のままでは足りないのではないか。現在の敷地では足りないので前提条件を大きく変えないといけないのではないか。
- 可能であればもう少し広い土地であればよいと思う。ただ、以前は7クラスで、今より人数が多かったがそれなりにやっていた。土地と教室は使い方次第かという気がする。
- 「地域に開かれた」ということでセキュリティが心配だという声を聞いてきたが、今の説明で理解した。
- 回遊デッキからプールが見える。生徒からは水着姿を見られるのは良くないとの意見があった。
- 前の道路の交通量が多い。防音対策や事故対策はどうか。また、車動線を中心とした検討も必要ではないか。
- 一人一人が学習できる学習室が必要ではないか。  
⇒ニーズに応じて検討をしていくが、部屋としてしまうと重ね使いができなくなるので、このような提案となっている。
- 学校職員の中では10年15年で西館を建て替えるならこの際に立て替えてほしいという声強い。
- トイレについてはどのように考えるか。  
⇒4クラス1単位として各階にトイレがあるということを基本に考えている。トイレで生徒が不便な思いをしない学校をつくらしていきたい。
- 生徒が普段いる教室から保健室が遠いのではないか。  
⇒配置についてはこれから検討していくが、救急搬送などのことを考えると保健室は1階を考えている。
- 工事中に在籍している生徒には不便をかける。可能な限りの配慮をお願いしたい。
- 地元としては校地を拡張してほしい。また、改修の説明が長かったが基本的には新築が主であると思う。

### <NSD部会について>

⇒NSD部会は設置せず懇話会の場で、全員で議論することとしたい。(一同了承)

# 統合の方法について

高校再編推進室

## 1 第1期再編での統合校の例

<年次統合>

○飯山高校      ○中野立志館高校      ○須坂創成高校      ○木曾青峰高校

<一斉統合>

○佐久平総合技術高校      ○飯田 OIDE 長姫高校      ○大町岳陽高校

## 2 定時制について

### 再編・整備計画【三次】の記載事項

- 野沢南高校定時制は、野沢南高校と野沢北高校の統合時に、「佐久新校（仮称）」定時制に移管する。
- 小諸商業高校定時制は小諸商業高校と小諸高校の統合時に「小諸新校（仮称）」定時制に移管した後、東御清翔高校の夜間部の設置時期を考慮しながら、佐久新校（仮称）定時制に集約する。

令和11年度	<b>&lt;佐久新校&gt;</b>		<b>&lt;野沢南高校&gt;</b>	
	新校定時制	←	新校へ移管	定時制
	新校定時制	野沢北(令和9年度入学)	3年	定時制
	新校定時制	野沢北(令和10年度入学)	2年	定時制
	新校定時制	佐久新校全日制(令和11年度両校入学)	1年	定時制

\* 全日制を年次統合とした場合

## 3 年次統合

- 野沢北高校・野沢南高校に入学した生徒が、それぞれ野沢北高校・野沢南高校で卒業
  - ・入学時の校名と卒業時の校名が同一
  - ・同一校地に2つの校名が存在（校名の併用が必要）
- 令和12年度末に、野沢北高校、野沢南高校の閉校行事を行う

<統合の様子>

令和11年度	<b>&lt;野沢北高校・佐久新校&gt;</b>		<b>&lt;野沢南高校&gt;</b>	
	新校定時制	←	4年	定時制
	新校定時制	野沢北(令和9年度入学)	3年	定時制
	新校定時制	野沢北(令和10年度入学)	2年	定時制
	新校定時制	佐久新校全日制(令和11年度入学)	1年	定時制

佐久新校 開校 野沢北・野沢南は募集停止

佐久新校の生徒募集を周知(令和10年度)

令和12年度	＜野沢北高校・佐久新校＞		＜野沢南高校＞	
	新校定時制		4年	
	新校定時制	野沢北(令和10年度入学)	3年	野沢南全日制(令和10年度入学)
	新校定時制	佐久新校全日制(令和11年度入学)	2年	
	新校定時制	佐久新校全日制(令和12年度入学)	1年	

令和13年度	＜佐久新校＞		＜野沢南高校＞	
	新校定時制		4年	
	新校定時制	佐久新校全日制(令和11年度入学)	3年	
	新校定時制	佐久新校全日制(令和12年度入学)	2年	
	新校定時制	佐久新校全日制(令和13年度入学)	1年	
佐久新校統合完了				

#### 4 一斉統合

○野沢北高校・野沢南高校に入学した生徒が、佐久新校で卒業

- ・入学時の校名と卒業時の校名が異なる
- ・令和10年度の1、2年生は令和11年度に佐久新校に転校

○令和10年度末に、野沢北高校、野沢南高校の閉校行事を行う

#### ＜統合の様子＞

令和9年度	＜野沢北高校＞		＜野沢南高校＞	
			4年	定時制
	野沢北(令和7年度入学)	3年	野沢南全日制(令和7年度入学)	定時制
	野沢北(令和8年度入学)	2年	野沢南全日制(令和8年度入学)	定時制
	野沢北(令和9年度入学)	1年	野沢南全日制(令和9年度入学)	定時制
生徒募集の際に「3年次(4年次)には佐久新校生となる」ことを周知(令和8年度、定時制は7年度)				

令和10年度	＜野沢北高校＞		＜野沢南高校＞	
			4年	定時制
	野沢北(令和8年度入学)	3年	野沢南全日制(令和8年度入学)	定時制
	野沢北(令和9年度入学)	2年	野沢南全日制(令和9年度入学)	定時制
	野沢北(令和10年度入学)	1年	野沢南全日制(令和10年度入学)	定時制
生徒募集の際に「2年次には佐久新校生となる」ことを周知(令和9年度)				

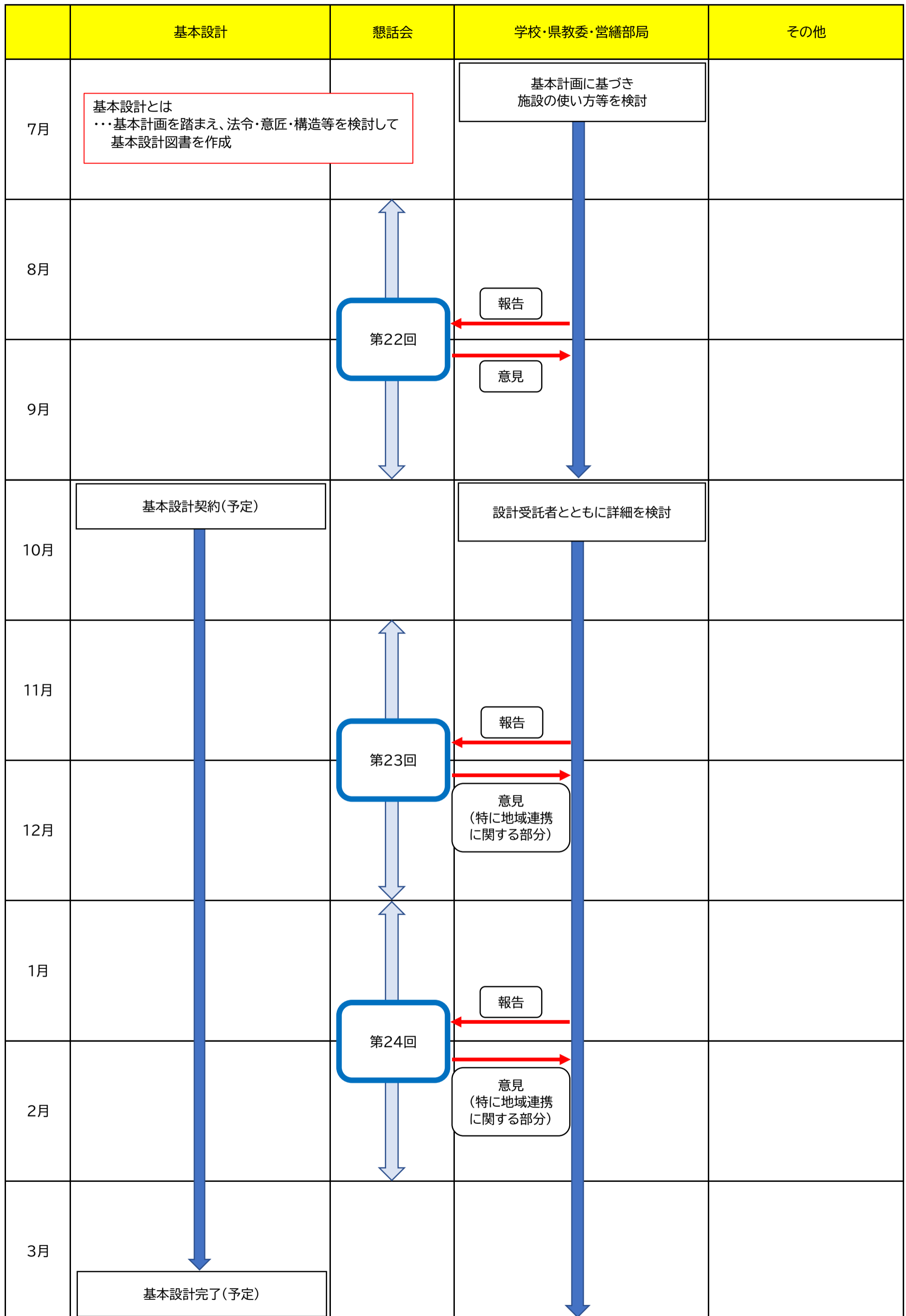
全日制1、2年生は野沢北・野沢南から佐久新校へ転校、定時制は佐久新校に集約

令和11年度	＜佐久新校＞			
	新校定時制		4年	
	新校定時制	佐久新校全日制(令和9年度両校入学)	3年	
	新校定時制	佐久新校全日制(令和10年度両校入学)	2年	
	新校定時制	佐久新校全日制(令和11年度両校入学)	1年	
佐久新校 開校 野沢北・野沢南は募集停止				
佐久新校統合完了				

佐久新校NSD今後の流れ(その1、基本計画策定まで)

	WS	懇話会	成果物	アンケートや聞き取り調査	その他
12月	教職員への説明 12月6日(水)	第17回 提案書説明と 意見交換		職員 Googleフォーム	野沢北高校 既存調査
	WS1【新校の学習空間】 12月27日(水)10:00~12:00 対象:両校教職員 内容:①プロジェクトセンター ②普通教室回り				
1月	生徒への説明(動画配信) 1月より随時	第18回 WSの報告 視察報告		生徒 Googleフォーム	先進施設の視察 ドルトン東京学園 立命館中学・高校 追手門学院中学・高校
	WS2【新校の学習空間②】 2月下旬 対象:両校教職員 内容:①特別教室 ②メディアセンター ③校舎配置・教室配置				
2月	WS3【新校での生活】 2月or3月 対象:両校生徒 内容:新しい学びと新校での生活	第19回 基本計画案に 向けた意見交換		地元自治体、同窓 会への聞き取り	
3月	WS4【地域との協働】 3月中旬 対象:地域住民、同窓生 内容:①新しい学びについて ②地域協働について				
4月	4月以降のWSについては、ここまでのWSの様子を見て、対象者、実施時期、内容を検討する。	第20回 基本計画案につ いて意見交換	基本計画案		
5月	懇話会に随時報告				
6月		第21回 基本計画につ いて意見交換	基本計画		基本計画とは ・・・施設整備の骨格に係る部分を検討

佐久新校NSD今後の流れ(その2、基本設計まで)



## 定時制に係る諸事項について

高校再編推進室

### 1. 再編・整備計画【三次】の記載事項の確認（前掲）

○野沢南高校定時制は、野沢南高校と野沢北高校の統合時に、「佐久新校（仮称）」定時制に移管する。

○小諸商業定時制は小諸商業高校と小諸高校の統合時に「小諸新校（仮称）」定時制に移管した後、東御清翔高校の夜間部の設置時期を考慮しながら、佐久新校（仮称）定時制に集約する。

### 2. 定時制を設置する学校に必要な諸室

○定時制の授業に必要な教室（HR教室と講義室）

○給食室（食堂）・・・現在は卒業式や終始業式会場としても使用している。

○定時制職員室

○定時制保健室

○定時制相談室

### 3. 佐久新校定時制の学び

○3年で卒業できるシステム（三修制）

○佐久新校全日制や通信制高校との連携（単位取得等）

○佐久地域の定時制が佐久新校へ集約されることを見越した、商業の学び

（小諸新校定時制商業科での学びを何らかの形で継承していくことを検討）





## ○参加者：

- ・野沢北高校・野沢南高校の教職員のみなさん
- ・長野県教育委員会
- +設計JVチーム（ファシリテーター） 合計約27名

2023年12月27日、野沢北高校にて、佐久新校の基本計画策定に向けた第1回目となるワークショップが開催されました。初回は、野沢北高校、野沢南高校の先生方を対象に、学校における学習空間の先進事例に関するレクチャーと新校の学習空間をテーマにしたワークショップを実施しました。

年の瀬の忙しい時期にもかかわらず、約20名の先生方にご参加いただき、活発な意見交換と情報共有がなされました。

## ●目的・主旨

- 教育空間と学びの先進事例紹介：
  - ・新校での学びの在り方について、イメージを膨らませてもらうとともに、ソフト（教育）とハード（施設）が密接に関係していることを理解する
- プロジェクトセンター・普通教室の在り方についての意見交換：
  - ・生徒・各教職員の学びの場・生活の場として求める環境、空間の在り方や課題について、それぞれの視点に立って考えてもらい、意見交換・共有を行うことで、今後の学校施設計画の検討に活かす
  - ・両校の教職員同士で新校の学習空間に対する思いを共有することで、今後の新校開校に向けた学びの基盤を醸成する



両校から様々な分野の先生が参加



生徒・先生・地域サポーターそれぞれになりきるWSを実施



両校それぞれの視点から考えや思いを共有

## ●当日の流れ

### 1. 開催の挨拶・計画案の概要説明

- ・長野県教育委員会より、NSDプロジェクトの概要や理念を説明し、設計チームより、プロポーザル時の計画案、特にプロジェクトセンターやロッカーラウンジの考え方について説明しました。

### 2. 先進事例の紹介

- ・新校の施設整備における、建築計画アドバイザーである伊藤俊介先生（東京電機大学教授）より、学校施設における学習空間・生活空間に関する先進事例を紹介しました。
- ・国内外の学校事例から、探究学習を行う先進的な学習空間をはじめ、ロッカースペースや普通教室の多様な使われ方についてレクチャーいただきました。

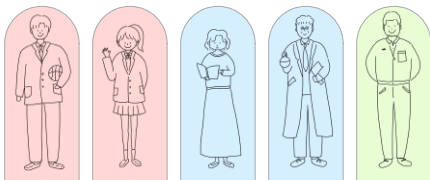
### 3. ワークショップの実施

#### 3-1. ワークショップの概要

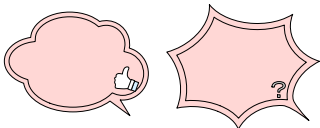
##### ○ワークショップ手法：

##### 『なりきりワークショップ』

- ・「生徒」「先生」「探究サポーター」それぞれの立場になりきり、プロジェクトセンターや普通教室の学習空間・生活空間に対する「良い点・やりたいこと」「気になる点」を付箋に書き出す
- ・記入した付箋を、各平面図やパースで該当する場所に貼り付けてビジュアル化し、意見を共有する



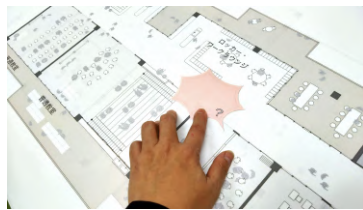
「生徒」「教師」「探究サポーター」それぞれのアイコンを配布



記入用の付箋

左：「良い点・やりたいこと」

右：「気になる点・改善点」



記入した付箋を、該当する場所に貼り付け

『なりきりワークショップ』のメリット：

- ・様々な人の立場に立って、リアルに考える
- ・誰の意見なのか、主語が明確になる
- ・現実的な立場から離れて、発言しやすい！

#### 3-2. グループワーク

- ・3グループに分かれ、各グループそれぞれで担当する役割を割り振り、各自その立場になりきって意見を出し合う
- ・テーマを設定し、各タームの中盤で役割を入れ替えて再度意見を出し合う

##### ○第1ターム：「プロジェクトセンター」

##### ○第2ターム：「普通教室」



学習空間の先進事例から、新校のイメージを膨らませる



メモを取るなど、熱心に耳を傾けていました



それぞれの役割に応じたアイテムを用意



様々な人の立場になりきり、フラットな意見交換



多様な視点から活発な議論が行われました

### 3-3. 成果の発表・共有

- ・各グループで出された意見を取りまとめ、グループ代表者が発表し、参加者全体で意見の共有を行いました。
- ・全グループに共通する意見だけでなく、グループごとに独自の意見やアイデアも多く発表され、互いに新たな気づきを得ることができました。



各グループの意見を全体で共有

## ●意見集約結果（抜粋）

### ○A班

#### [プロジェクトセンター]

- ・（生徒）一人で学習できる場所がほしい
- ・（先生）本を分散して配置し、本に包まれるような環境で学べるとよい
- ・（探究サポーター）佐久の地域性を活かし、地学を学べる教室がほしい

#### [普通教室まわり]

- ・（生徒）空き時間に勉強する場所がほしい
- ・（生徒）定時制生徒の教室から体育館までの移動が遠く大変
- ・（先生）教室3面がホワイトボードになれば、上級・中級・初級など個別の習熟度に応じた授業ができる

### ○B班

#### [プロジェクトセンター]

- ・（生徒）一人のときの居場所がほしい
- ・（先生）芸術、家庭科、社会、人文などの場所もわかりやすくして様々な生徒や先生がプロジェクトセンターの活動に参加しやすくなるとよい
- ・（探究サポーター）今どこで何が行われているかが分かる掲示板がほしい

#### [普通教室まわり]

- ・（生徒）雨の日に自転車通学で濡れたカッパをしまえる場所がほしい
- ・（生徒）廊下にちょっと座れるカウンターがあるとよい
- ・（先生）北側教室とするなど、浅間山が見える教室としてはどうか

### ○C班

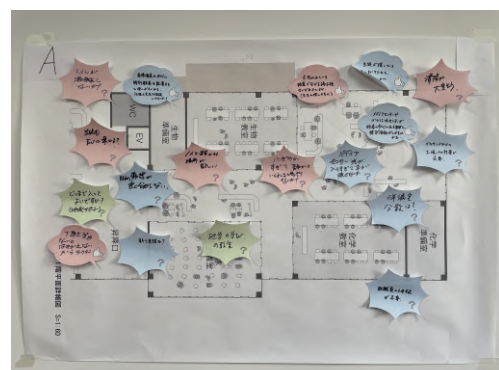
#### [プロジェクトセンター]

- ・（生徒）個室、ブースなど落ち着けるよう小さいスペースに仕切れるとよい
- ・（先生）プロジェクトセンターに滞在して、生徒との関係を深めたい
- ・（探究サポーター）仕事をしながら、生徒に教えられるスペースがほしい

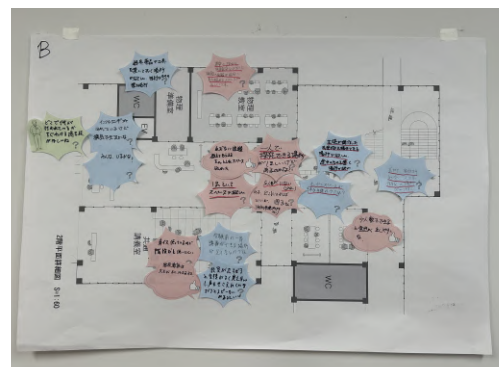
#### [普通教室まわり]

- ・（生徒）全日制生徒との入れ替え前に定時制生徒が待機できる場所がほしい
- ・（生徒）着替えをする更衣室がほしい
- ・（先生）学年共通の掲示物やお知らせが貼れるスペースがほしい

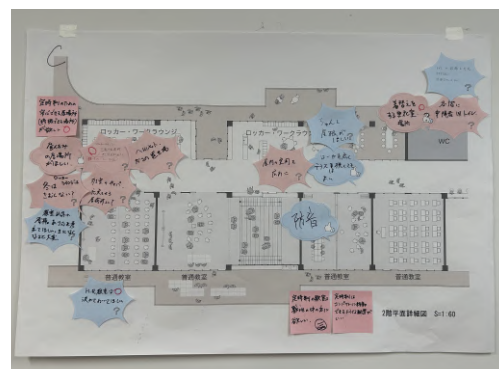
### ○各グループの成果品（一部）：



プロジェクトセンターについて（A班）



プロジェクトセンターについて（B班）



普通教室まわりについて（C班）

### ●総評・まとめ（ファシリテーター：伊藤俊介先生より）

今回「なりきりワークショップ」方式をとったのは、役割を決めることで、実際に学校で過ごす視点から考えやすくするためです。参加者の方々は積極的に役になりきっていただきました。立場によって見方が異なる点もあれば、違う立場でも同じことを気にかける場合もあります。これらを皆で出していくことで、さまざまな角度から校舎へのニーズを把握することができました。「ここで勉強したくなる」「こういう場所で探求ができるといいね」のような、学校生活のイメージも多く出てきました。ワークショップを通じて、新校の建築への親近感も湧いたのではないかと期待しています。

